

## 江差ソーシャルクリニック

北海道教育大学函館校  
准教授 古地 順一郎

6年目を迎えた江差ソーシャルクリニック(以下、江差SC)は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中での活動となった。大きな制約を受けることになったが、町民の方々のご理解とご協力を得て一部事業を展開することができた。今年度も、地域政策学、経済学、地域福祉学、生態学、美術教育学の教員が関わった。

まず、江差SCの活動における3つのテーマを確認しておきたい。第1のテーマは、江差SC活動に対する学生の関心を喚起し、参画意欲を醸成することである。これまで、「まちあるきツアー」と「姥神大神宮渡御祭参加体験」を行ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響もあったことから、実施を見送った。

第2のテーマは、地域福祉における互助体制づくりである。町民の主体性を引き出しながら地域課題の解決に取り組む「まちづくりカフェ」が牽引する形で行われており、地域福祉学の教員が体制づくりに積極的に関与している。道内他自治体からも注目されるこの取り組みは、江差町中心部にある「江差BASEプラス1」を拠点として、コロナ禍でも着実な歩みを見せており、来年度の事業の準備を進めている。

第3のテーマは、「目的地」としてのまちづくりである。この場合の「目的地」には、観光地としてだけではなく、日常生活の中での訪問場所、移住・定住の目的地としての意味も含まれている。すなわち、江差町の魅力を高めて「訪れたいくなる」、「住んでみたいくなる」まちを作ることである。まず、観光関連については、経済学の教員が中心となり、経済波及効果を測定する独自の仕組みづくり

への支援が行われてきた。今年度は、実際に調査を行い、データ収集、分析を行った。分析結果は、観光事業関係者の方々と共有された。

次に、上町商業地区の活性化に関する取り組みについても、コロナ禍の影響を大きく受けることとなった。江差夜市への支援は、8月のみの実施となった。しかし、昨年度から学生たちが構想を練ってきた「第2回江差ニシンチャレンジカップ(以下、NCC)」は2021年11月13日(土)に実施することができた。NCCは、江差町の日本遺産への指定にあたって中心的なコンテンツであり、同町の歴史を語る上では不可欠な「ニシン」という題材を改めて見つめ直し、今後のまちづくりの中心的な題材の一つとして再定義していこうという試みである。第1回は2020年2月に料理コンテストという形で開催したが、2020年度はコロナ禍のため開催することができなかった。そのため、学生が中心となってアイデアを温め、「料理」、「アート」、「スポーツ」という3つの切り口からイベントを開催することが提案された。この提案を受ける形で、2021年度に町役場、町民有志、本学による実行委員会を設立した。本学からは地域政策学研究室と美術教育学研究室が参画した。

今回は、ニシンに対する町民の親しみを醸成することを目的として、料理とアートを組み合わせたイベントを展開した。料理部門では、「家庭でも作って食べたいと思う料理」をテーマとしてコンテストを実施した。アート部門では、「海の中の商店街」をテーマとした装飾を行い、町内の子どもたちが手形や絵などで装飾した「にしんのぼり」を泳がせるとともに、子どもたちが描いた絵をスク

リーンに映して泳がせる「デジタル水族館」も実施した。さらに、直径約1メートルのニシン釜も用意し、ニシンの塩焼きも提供した。

イベント当日は、札幌テレビ「ハレバレティモンディ」の収録が急遽入ったこともあり(2021年12月11日、18日放送)、延べ約200名の来場者があった。来場者アンケート(回答総数:38)によれば、料理コンテストで提供されたニシン料理を食べることで、家でもニシンを料理して食べたいと思った人が約半数(とても思う6%、思う43%)いたことが分かった。また、NCCがニシンを身近に感じるきっかけとなったかという問いに対しては、約8割(とても思う21%、思う58%)が肯定的な回答をしており、イベントの効果が一定程度あったことが窺えた。さらに、デジタル水族館やアートのワークショップなど子どもも楽しめるコンテンツには、肯定的なコメントが寄せられた。ニシンにこだわるイベントについては、これまでの発想とは異なった見せ方への肯定的な評価があった一方で、ニシンを中心的な題材に据えることに対する疑問や、町民の巻き込みがないと持続しないといったコメントも寄せられた。2月には、NCCのスポーツ版を実施する予定で準備を進めていたが、新型コロナウイルス変異株による感染の急拡大により、来年度に延期となった。

江差SCの活動は、町民の方々のご理解とご協力がなければ成立しない。SC活動の趣旨と目的をご理解いただき、日々惜しみないご協力をしてくださる町民の方々に心より御礼申し上げます。



NCC会場の様子



NCCデジタル水族館